

最近の薬液注入工法技術研究発表会

「恒久グラウト・本設注入」と「液状化対策」
～平成14年度社団法人地盤工学会技術開発賞受賞技術～

主催 地盤注入開発機構
恒久グラウト・本設注入協会
複合注入工法研究会
シリカゾルグラウト会
マルチパッカ工法協会
強化土グループ

謹啓、時下益々ご清祥の段、大慶に存じます。

平素は、弊機構に関し格別のご高配を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

弊機構は「薬液注入の長期耐久性の研究」を1982年東洋大学米倉研究室と産学共同によってスタートし、29年経過した今日に到るまでその研究は脈々と継承して参りました。その研究成果は、耐久性のメカニズム解明、恒久グラウトの開発、急速浸透注入工法の開発、マスキングシリカの開発とその既設構造物保護機能の実証等環境保全注入技術が導入されるなど目覚ましいものがあります。今や薬液注入工法は従来の仮設目的から「恒久グラウト・本設注入」へと質的転換を遂げつつあります。

恒久グラウト・本設注入工法は液状化対策工、恒久止水、基礎の高強度恒久補強等に新しい地盤改良工法として多数採用され施工実績は700件以上、注入実績にして2億リットル以上に達し、需要が拡大しております。今般の東日本大震災に際しても施工箇所について確認された限りにおいて液状化被害は皆無であり、その効果が改めて実証されました。

これらの研究は既に平成14年度公益社団法人地盤工学会より「恒久グラウトと注入技術」として技術開発賞（米倉亮三・島田俊介）の評価を頂いております。

さて、弊機構は、昭和58年以来関連する産官学および関連研究会のご協力を得まして、全国各地にて、標記「最近の薬液注入工法技術」の研究発表会を開催して参りました。

今回は東京都市大学教授の末政直晃先生、岐阜大学教授の杉戸先生に基調講演をお願いし、経験豊富な機構の技術陣が「恒久グラウトによる本設注入と液状化対策」の発表を致します。

ご多忙中誠に恐縮には存じますが、ご出席賜ります様ご案内申し上げます。

謹白

平成23年9月

地盤注入開発機構
会長 鶴山 和夫
実行委員長 柏谷 英博

1. 日時	平成23年 10月14日(金) 受付 12時30分 開会 13時00分 閉会 17時00分
2. 会場	愛鉄連厚生年金基金会館 大会議室 愛知県名古屋市中村区黄金通1-18 TEL 052-481-7852
3. 会費無料	
4. 連絡先	東京都文京区本郷3-15-1 ジャテック(株)内 地盤注入開発機構事務局 TEL: 03-3815-2162 FAX: 03-3815-2102 [担当] 島田(励)・津久井
技術研究発表会についてのお問合せは上記迄ご連絡下さい。 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。 実行委員長 日本基礎技術(株) 柏谷 英博 同封用紙による出欠のご返事は、会場準備の都合上 10月3日(月)までにFAXにてお願い致します。	



「最近の薬液注入工法技術研究発表会」

日時 平成23年10月14日(金)

場所 愛鉄連厚生年金基金会館

プログラム

受付 12:30
開会 13:00

1. 開会の辞

実行委員長 地盤注入開発機構 中部支部長 柏谷 英博

2. 開会挨拶

地盤注入開発機構 会長 鶴山 和夫

3. 特別講演 (13:05~13:45)

地盤の液状化対策について

東京都市大学地盤環境工学研究科教授 工博 末政 直晃

4. 恒久グラウトによる液状化対策工の最近の進捗 (13:45~14:25)

～統合技術としての恒久グラウト・本設注入の四大要件と要素技術並びに恒久性の実証～

～東日本大震災における施工地盤の追跡調査報告～

地盤工学会名誉会員 強化土グループ会長 農博 技術士 島田 俊介

5. 恒久グラウトの施工事例 (14:25~14:55)

(株)大林組 北陸支店 土木工事部 工事課長 上月 健司

休憩 (10分間)

6. 恒久グラウトと急速浸透注入工法 (15:05~15:35)

～東日本大震災における改良効果の実証確認～

恒久グラウト・本設注入協会 会長 小山 忠雄

7. 恒久グラウトの設計と施工 (15:35~16:10)

地盤注入開発機構 運営委員長 技術士 江藤 政継

8. 特別講演 (16:10~16:55)

東海・東南海・南海の3連動地震による強震動の特徴と液状化被害への影響について

岐阜大学 理事・副学長 工博 杉戸 真太

9. 質疑応答・閉会の辞

閉会 17:00

公益社団法人 地盤工学会 CPD単位 3.5ポイント 認定講座